



日本一人口の多い村 よみたんそん

73号 2018年3月
定例会

平成30年3月末現在
(人口41,321人)

議会だより



「議会だより」の「面数」の多い「議」がむづかしかったです。またかける時があるならば、またかきたいです。

こじや ひより
題字：古謝 日彬
(渡慶次小学校5年)

読谷郵便局
YOMITAI POST OFFICE



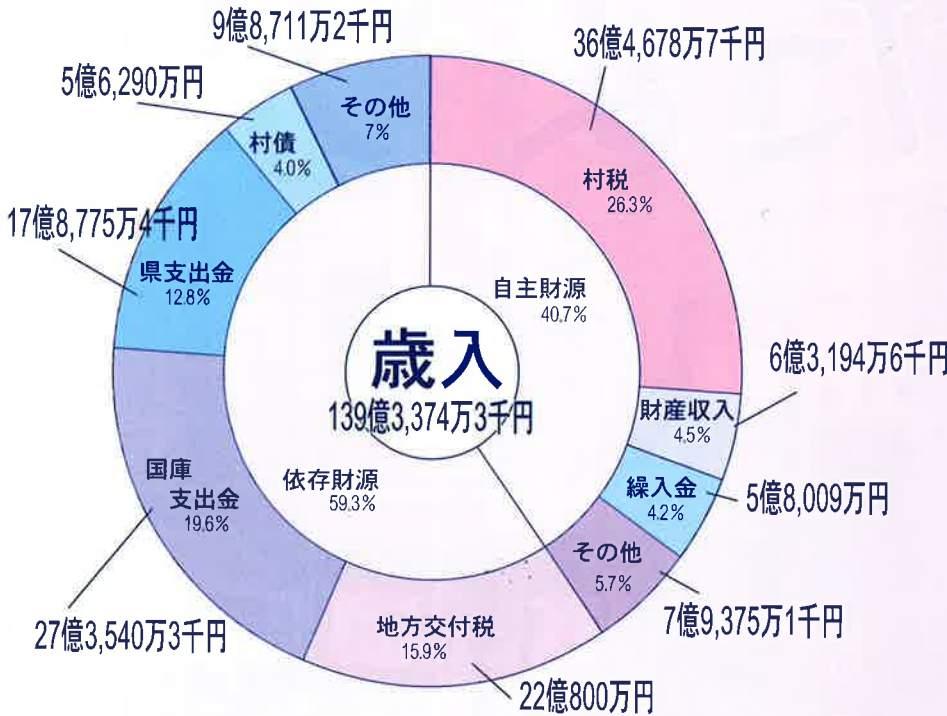
主な目次

◎一般質問……………P6～17

2018年(平成30年6月発行)

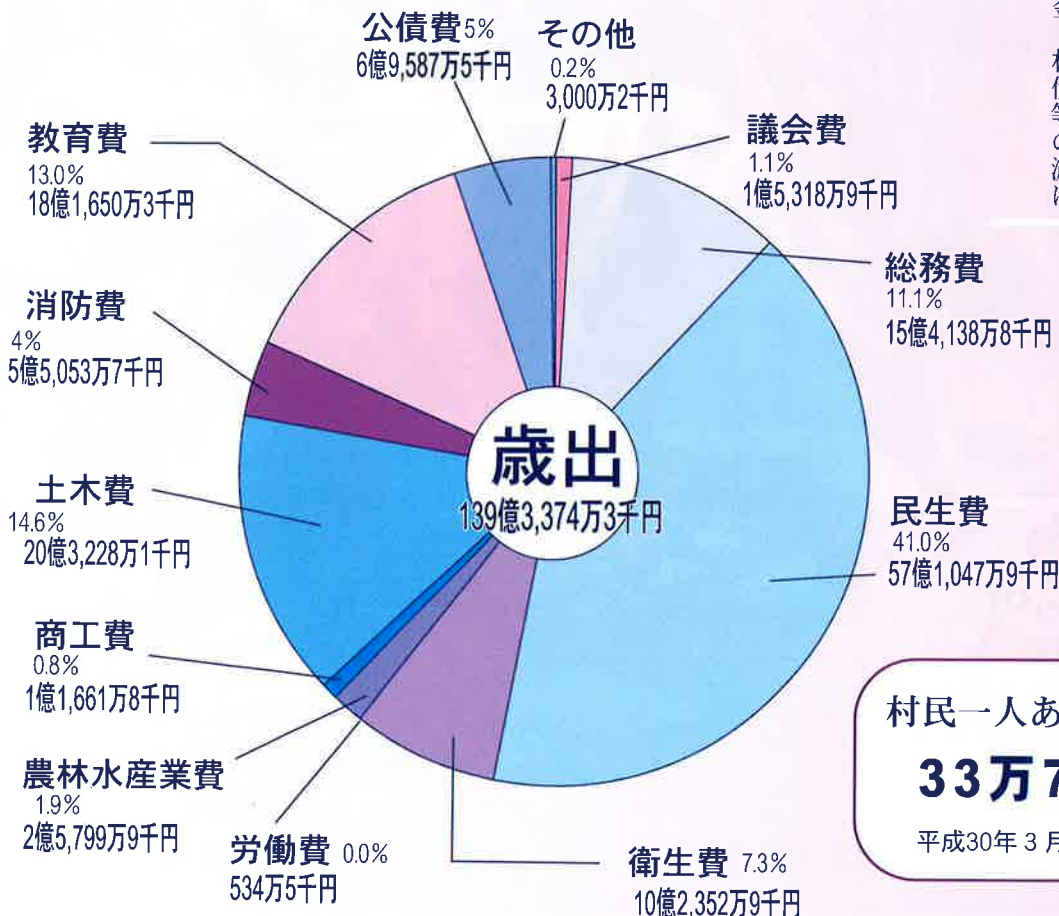
億3,374万3千円

対前年度比1.0%減額



平成30年度読谷村一般会計予算が、3月定例議会において認定されました。一般会計の歳入歳出予算の総額は139億3,374万3千円となり、対前年度比1億4,420万(1.0%)の減額になっています。

歳入予算における自主財源と依存財源の割合については、自主財源は56億5,257万4千円で40.7%、依存財源は82億8,116万9千円で、59.3%となっています。自主財源は村税等の増額により、前年度に比べ1億3,541万1千円(2.5%)の増、依存財源は県支出金、村債等の減により、前年度に比べ2億7,761万1千円(3.2%)の減になっています。



村民一人あたりの支出額

33万7,207円

平成30年3月末人口 41,321人

平成30年度 一般会計予算

139

特別会計予算認定

※少数点第2位四捨五入

(単位：千円、%)

診療所特別会計

2億8,057万円

前年度比較 (%) 5.9増

国民健康保険特別会計

47億5,147万5千円

前年度比 (%) 26.6減

後期高齢者医療特別会計

4億2,307万5千円

前年度比較 (%) 11.0増

下水道事業特別会計

3億2,986万6千円

前年度比較 (%) 25.1減

水道事業会計

11億4,963万円

前年度比較 (%) 4.0増

合計

69億3,461万6千円

前年度比較 (%) 19.9減

区 分	年 度	平成30年度	
		予算額	構成比
自主財源	村 税	3,646,787	26.3
	分 担 金 及 び 負 担 金	212,857	1.5
	使 用 料 及 び 手 数 料	287,355	2.1
	財 産 収 入	631,946	4.5
	寄 附 金	53,928	0.4
	繰 入 金	580,090	4.2
	繰 越 金	57,200	0.4
	諸 収 入	182,411	1.3
小 計		5,652,574	40.7
依存財源	地 方 譲 与 税	71,745	0.5
	利 子 割 交 付 金	3,526	0.0
	配 当 割 交 付 金	7,382	0.1
	株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	8,207	0.1
	地 方 消 費 税 交 付 金	532,849	3.8
	ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	15,576	0.1
	自 動 車 取 得 税 交 付 金	18,612	0.1
	国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金	74,187	0.5
	施 設 等 所 在 市 町 村 調 整 交 付 金	237,069	1.7
	地 方 特 例 交 付 金	14,459	0.1
	地 方 交 付 税	2,208,000	15.9
	交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	3,500	0.0
	国 庫 支 出 金	2,735,403	19.6
	県 支 出 金	1,787,754	12.8
	村 債	562,900	4.0
小 計		8,281,169	59.3
歳 入 合 計		13,933,743	100.0

自主財源

村が自主的に収納することができる財源。財産収入、固定資産税、村民税など。

依存財源

国や県から割り当てられる補助金や交付金。

意見書・抗議決議

村民に強い不安と衝撃を与えたAH1攻撃ヘリコプターの不時着事故に対する意見書

第469回

可決

去る1月8日午後4時45分ごろ、米軍普天間基地所属のAH1攻撃ヘリコプター1機が本村儀間の一般廃棄物最終処分場の敷地内に不時着した。2日前の6日には、同飛行場所属のUH1Yヘリコプターが、うるま市伊計島の海岸に不時着したばかりである。10月以来、連続して事故やトラブルが発生したことは異常事態であり、村民に与えた墜落の不安と衝撃は強く、怒りは頂点に達している。

事故現場は民間住宅地及び大型リゾートホテルからわずか250メートルしか離れてなく、周辺で作業する農業者や観光客などを巻き込む重大事故にもつながるおそれがあり、断じて許されるものではない。又、ホテルの進入路や村道が規制されたため、多くの宿泊客が遠回りを余儀なくされ、観光客にも大きな不安を与えた。



不時着したばかりのAH1攻撃ヘリコプターによる被害状況調査の光景

読谷村議会は村民の生命、財産、安全及び平穏な生活を守る立場から、米軍及び関係当局に厳重に抗議するとともに、下記事項について速やかに実施するよう強く要請する。

記

- 1、全米軍機の安全点検を行い、実効性のある再発防止策を講じること。
- 2、事故原因が明らかになるまで普天間基地に所属する米軍機全機の訓練を中止すること。
- 3、民間地上空での米軍機の飛行訓練を中止すること。
- 4、在沖米軍基地の整理縮小と米海兵隊の撤去を図ること。
- 5、日米地位協定を国民主体とした抜本的改定を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年1月10日

沖縄県読谷村議会

平成30年度の取り組み



公園整備が始まる予定のユーバンタ（楚辺）



ICT(電子黒板)を使用した授業風景(全小・中学校に導入)



波平都屋線（赤線部分の整備）



村民の健康増進をはかるトレーニングジム
整備事業！（写真イメージ）



コース整備が完了したパークゴルフ場

Q 村政を問う!! 一般質問



上地 栄

による粉じんや騒音被害の訴えがあるが、村としての環境対策は

答 村の対応としては現場確認後、県に問い合わせをして中部保健所による完了時前検査及び近隣住民の聞き取りを実施してきた。その後楚辺自治会主催の説明会にも参加し、問題の把握に努めてきた。今後については動向を見守り、環境対策に努力する。

平成30年度の国民健康保険料は8万2千280円で税率の変更なし

問 国保の財政運営が村から県に移管される理由は

答 法律の改正により、これまで市町村単独での財政運営から県全体での支え合いの仕組みに変わり、より安定した国保財政の運営のためである。

無投票当選で3期目の村長に就任した石嶺傳貴氏の抱負は

答 日本国憲法の基本理念に基づき、「創造・協働・感動」のむらづくりを引き続き取り組む。特に返還軍用地の跡地利用、高齢者福祉、スポーツコンベンション事業等を重点的に取り組む。

楚辺地域に建設された資源分別施設の環境問題について

問 周辺住民から当該施設

3年目を迎えた読谷村シルバー人材センターの状況と支援策は

答 学校の構造によるが1階から3階まで上がるエレベーターを設置して2年間で4千5百万かかる。

答 平成28年度は会員139人、契約金額1千69万786円、就業延人数3千374人である。支援策として運営補助金を交付するとともに、事務所の確保、必要備品の整備等を行っていく。

障がいを持つ生徒の現状と支援策は

答 小学校で56人、中学校で16人である。支援策として各学校に特別支援教育支援員を2名配置しており、児童の困り感に対応している。

問 教育の基礎的環境（エレベーターやスロープの設置等の整備は）

答 現在計画中の学校改修事業のなかで検討する。

問 仮にエレベーターを設置するといくらの費用がかかるか

答 学校の構造によるが1階から3階まで上がるエレベーターを設置して2年間で4千5百万かかる。

農家や生産法人の現状及び所得向上や負担軽減策は

答 農家数は2015年の農業センサスより529戸になっている。支援策としては、国や県の交付金制度を活用して、施設整備や機械化学を推進して所得向上や負担軽減に取り組んでいる。最近では平成29年度にニンジンの播種機、防除機を入れて機械化一環体系で法人の支援をしている。



環境が心配される資源分別施設



吉国 雅和

の負担軽減等につながるものであり、検討していきたい。

答 認可保育園194名増・4小規模保育事業所76名（新年度一法人と一認可化）・5歳児保育クラスの増設（本年度わかたけ保育園で、次年度は喜名保育園）・村立北保育所の認可保育園（法人）移管後の定員数の増設で待機児童問題を解消していく。

村道中央残波線北進構想について

答 平成21年度に予備設計を行い、県道6号線交差点部分から延伸し、「むら咲むら」から北側へ約100mで合流する計画で、県道6号線からの総延長は2.4kmで片側一車線道路である。

問 事業採択の予定は

答 村道比謝横断線整備事業（約60億円）等の進捗状況や財政状況を鑑みながらの事業着手になる。（今後10年以内の完成は厳しい）

県道6号線残波バイパス道路

問 村道中央残波線北側延伸を県道に格上げし残波入口（瀬名波川平）と結ぶ構想を提案する。

答 村道中央残波線北進構想を県道に格上げし、残波入口と結ぶ構想は、村財政

古堅幼稚園複数年保育

答 平成31年度から古堅幼稚園で4歳児保育に取り組み。

喜名小学校に放課後児童クラブ設置

問 平成29年11月8日付、沖縄県知事と沖縄県教育委員会教育長から放課後児童クラブの小学校内設置促進依頼について

答 平成30年度実施設計をして喜名小学校の敷地に建設していきたい。それから古堅小学校に設置できないか、古堅南小学校に関して、南学童が既にあるので、こ



津波古菊江

の方で漏れの部分を自治会に確認等々を行い、精査がすむと役場庁内で村道認定に向けて意見交換の上、議会への提案をして村道認定としての手続きを行う。

古堅自治会内縦道路の村道認定について

問 古堅自治会が66年間区で借り受けている古堅南小学校東側の道路(縦道路)について自治会より村道認定の要請書が提出されているが進捗状況について何う

長田川の水害対策について

問 H26年台風8号の大雨による比謝川、長田川の氾濫で下流の住宅が浸水、また比謝川の冠水で多くの村民が被害を被った、その後の対策について何う

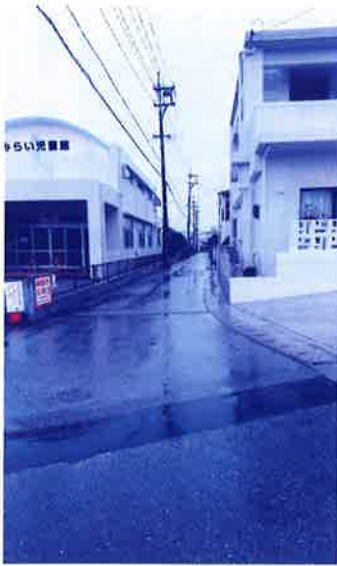
ゴミ問題について

問 小型家電リサイクル制度の実施法が施行されたが資源ゴミ等の収集方法の進捗状況を伺う

答 30cm未満はもえないゴミ超えるものは粗大ゴミとして回収し、その中から選別をし、小型家電は業者に引き渡している。

問 ゴミ袋MサイズをU字型耳つきにしてゴミ回収のサービス向上とゴミ減量化意識向上の便宜を図る事について何う

答 広告をMサイズのみ対称としてコスト減を計る事については契約で全ゴミ袋対称に契約しているので契約内容金額等々再度の精費



村道認定を切望する古堅地域の縦4本道路

が必要となるので1つの案として受けたい。

放課後子ども教室推進事業(わんぱく広場)について

問 公民館を活用して放課後の児童生徒の安全で安心な居場所づくりとした事業で小学校1年〜中学3年生までが対象で共働き、1人親世帯の子育て支援、親支援がテーマだが事業が低滞気味である拡充のために地域振興交付金の活用は出来ないか

答 地域振興交付金は地域の自治会の地域活動を支援する目的で補助している。議論は必要だが見直せるところは見直していく考えだが自治会の皆さんと相談してからとなる。



栄嘉神谷

村長施政方針を問う

問 3期目の村政運営に向ける抱負を伺う

答 これからもさらにより良い読谷村を目指し、着実に課題解決に全力で取り組みむらづくりの基本理念をしっかりと踏襲して、より一層の村政発展に邁進していく。

より市町村から県へと制度が移行されるようだが、その経緯と説明を求めらる

医療保険制度改革のため「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律」の成立により、従来の市区町村単独から、都道府県も保険者として加わり、都道府県が財政運営の責任主体となる国民健康保険の広域化となった。国保事業自体は引き続き読谷村が主体として行う。

放課後児童クラブ(学童クラブ)の今後

問 本村の公設及び民設の学童クラブの状況を伺う

答 公設は南学童クラブ1箇所、民間学童クラブは8箇所を把握している。

国民健康保険(国保)事業

問 国保事業が平成30年度

学童クラブを今後どのように取り組むにかのかを伺う

答 放課後児童クラブは本村の子育て支援の観点から、重要な役割があり必要な施設だと考えており、整備にむけて取り組んでいく計画である。

学校給食の安全

問 学校給食調理場における食の安全管理体制を伺う

答 衛生管理、食物アレルギー対応、異物混入防止対策があり、また調理場所長、栄養教諭、調理主任、調理員、学校長、養護教諭、給食主任、学級担任などの役割があり、さらに、調理から喫食・片付けの段階まで各種マニュアルなどが定められており、安全・安心な給食実施のため、学校給食衛生管理基準及び学校給食実施基準に照らして、常に適切な管理に努めている。

問 平成30年度に供用が開始される読谷第二給食調理場の特長・特徴を伺う

答 文科省の公立学校施設



読谷第二給食調理場

整備基準、学校給食実施基準、学校給食衛生管理基準、厚労省の大量調理衛生管理マニュアル全ての基準に適合するよう設計・整備され、村内では最新の設備、機器を備えた調理場となっている。また、他との相違点については、本村の調理場にこれまでなかった「アレルギー食調理室」を備えており、今後段階的になるかとは思いますが、食物アレルギーに対応したい。

少子高齢化対策から

問 2025年問題の取り組みは

答 2025年、読谷村における65歳以上の人口は約9千200名と予想。高齢者の健康の維持促進、介護予防、生きがいづくり、自立した日常生活、尊厳ある暮らしを支援。

問 子育て支援の取り組み

答 平成30年3月末の待機児童数は73名待機児童は14名。31年度の待機児童解消にむけて、認可保育園定員増小規模保育所の増設、学童クラブは放課後の居場所として整備していく、未就学児の子ども医療助成事業の現物給付は平成30年10月実施する。



ながはま りのり
長 濱 宗 則

読谷村の納税から

問 読谷村の納付率と滞納徴収率は

答 28年度決算の現年度分の徴収率は98%、滞納分43.7%。

問 所得向上を図るための企業の誘致活動を積極的に取り組む必要と思われませんかその対策は

答 村全体でバランスを取りながら、企業誘致運動を引き続き図りたい。

第5次総合計画基本構想から

問 議会への提案が遅れた理由は

答 村づくりワークショップの方法を進めてきたが村民の意見の集約が審議会の審議に入れ込みが遅れた。

問 第5次総合計画基本構

想案の提案時期は

答 4月の臨時議会で予定。

問 村長として第5次計画基本構想での読谷村のむらづくりの考え方は

答 読谷村の10年長期構想は行政、議会お互いで責任をもって作ることは重要なことである。

沖縄振興特別交付金（一括交付金）から

問 これまでの事業の成果と課題は

答 残波ボールパーク整備、平和の森球場の機能強化でサッカー、ラグビーの誘致等でスポーツコンベンションが促進された。地域振興センターの建設、パークゴルフ場の整備などで軍用地跡地利用の推進、各種支援委員の配備、ICT機器の整備、教育環境の重要、平成30年度の基本配分額が減額になり新規事業の立案を

するための財源確保のめどが立たず課題となっている。

問 パブリックコメントで村民からの要望を取り入れる考えはないか

答 各事業担当課が業務を行う中で出てきた各種団体や村民からの要望について一括交付金を活用できないか検討し事業を計画していくことが重要と考える。



一括交付金を活用し整備されたパークゴルフ場



伊佐 眞武

保健センターの必要性について

問 保健センターとは地域保健法上、どの様な位置付か、また、本村の健康づくりの拠点として、全世代に対応した保健センターが求められていると思うが、その見解を伺う

答 地域保健法第18条第1項で、「市町村は、市町村保健センターを設置する事ができる」と規定され、同法第2項で、「市町村保健センターは、住民に対し、健康相談、保健指導、及び、健康診査、その他地域保健に関し必要な事業を行うことを目的とする施設とする」と規定されています。健康で明るく元気に生活できる住み良い村を実現するためには、村民一人一人が主体

的に健康づくりに関心を持ち取り組む事が大切です。また、安心して出産・育児ができる様、心身の健康づくりを進める事や、今後進展する高齢化に対し、健康寿命の延伸のため、生活習慣病の発症、重症化の予防へ取り組む事が大切です。保健センターの役割は、世代を問わず、健康相談を初めとした、村民の健康を助ける身近な施設として、健康に関する機能を集約する拠点であると認識しています。

長田川沿岸整備について

問 長田川への可動堰設置及び比謝川下流堰の撤去のタイムスケジュールは、また、かつては沖縄八景に数えられた比謝川沿岸です。下流堰撤去後の沿岸整備構想を今から策定すべきでは

答 H29年度に実施設計が行われており、H30年度から工事開始との報告です。また、比謝川下流堰は昭和36年に米軍によって設置さ

れたものであり、50年以上が経過しております。沿岸整備構想については、比謝川下流堰撤去後の水位や河川環境の状況など見ながら策定していく事が肝要と考えております。

村道大木・比謝線について

問 当該道路は通学路であると同時に、大湾東地区の商業施設の開業により、徒歩で買い物に行く人が増えています。交通安全対策として、歩道部分を認識させるグリーンベルト舗装が出来るのか伺います

答 通学路のカラー舗装は年次的に予算の範囲内で対応している事から次年度以降検討してまいります。

比謝横断線について

問 今後のタイムスケジュールを伺います

答 H30年度は概略予備設計、次年度以降、地権者合意形成及び関係機関との協議を経て、H33年度事業採択に向けてと取り組んでいきます。



グリーン舗装がされている歩道 (古堅小学校裏)



比嘉 幸雄

陸上自衛隊第15旅団音楽隊が12月16日読谷村文化センターで開催する音楽祭に参加を予定していた読中吹奏楽部が村教育委員会の判断で出演を取りやめた

問 出演中止になった理由の説明を求め

答 読中吹奏楽部は練習に取り組んでいた。混乱を避けるため、参加を見合わせた。子供たちに何と説明したか

答 一生懸命練習してきた皆さんに大変申し訳ございませんでした。混乱が予想されそれを避けるため参加を見合わせたと説明した。

問 父母・村民の反応は

答 落胆する子もいた。賛否両論の声があった。

問 次回参加要請があれば

どうするか

答 参加を見合わせる。

問 どんな賛否両論があったか

答 音楽に政治的な判断を持ち込むべきではない。自衛隊そのものは安保で国を守っている認めるべきである。中高生が政治的な判断が出来ない中、参加するのはいかなるものか。

問 村民一人からの反対意見で出演中止を決めている。電話のあった次の日、中止を決めている。本来なら説明をして決めるべきでは

答 子供の気持ちより一人の反対者の意見を尊重するその理由は

答 読谷の歴史を鑑みると、平和教育の視点からは自衛隊は課題がある。

問 教育委員会は同じような機会をあたえられるか

答 おそらくなかなかない。

「高齢者居場所づくり事業」

問 高齢者施策の新たな事業展開は

答 今後必要と認識している

る。

問 居場所づくりに補助金を交付しては

答 関係者と協議したい。

問 地域ボランティアの減少対策は

答 参加型から参画型も考慮し取り組みたい。

問 高齢者の住み慣れた地域での環境作りは

答 「地域包括ケアシステムの構築」に向け各機関との情報の共有、連携強化に取り組み。

読谷村ノーベル平和賞を 夢みる村民基金平成29 年度交付決定について

問 喜名小70周年記念事業の記念誌発刊事業名での村民基金は補助がない。説明を求める

答 PTA活動は、事業趣旨とは違う。

問 記念事業がPTA活動か、地域活動か運営委員で議論があったか

答 審査会上げてない。

読谷村の防犯灯について 近隣市町村ではLED化 や設置工事が進んでいる

問 読谷村の防犯灯整備はどうなる

答 今年度、沖縄安全対策事業補助金を活用し116基の防犯灯を設置する。共架型も30基設置予定です。次年度は一括交付金を活用して村内防犯灯のLED化の調査を検討している。

問 実際に事業が始まるのは何年先か

答 一括交付金の活用ができるかを申請しながらこれから詰めていく。



沖縄安全対策事業補助金で整備された防犯灯

ゆんたんざ産業づくり



あらかき しょうこう 新垣 修幸

問 農業は本村における基幹産業である。過去20年間の投資額は

答 土地改良事業整備費として総額47億476万6000円。

問 投資効果は

答 花卉を中心に、マンゴーの出荷、灌漑・配水も整備され、今後伸びる。

問 面整備は進んできた、紅イモ、キビ、野菜等の出荷体制を強化していくとしている、いかように進めるか

答 キビは規模拡大、法人化ハーベスター等機械を組み合わせた労力の軽減単収向上を図る。冬春期に市場から好まれるゴーヤー、インゲンの選定、マンゴー高単価で出荷調整も必要。

手づくり工芸の継承と 展

問 読谷の農業に係る協議会は

答 県の機関、JA、花卉農協の出荷団体とも協力。

問 現在何か所でヤチムン市が開催されているか

答 青い海で開催される読谷工芸市、ヤチムンの里で開催される陶芸市、JAおきなわゆんた市場で開催される読谷やちむん市の3カ所

問 3カ所の組織体は

答 青い海で開催は青い海の皆さんが中心、12回目、16の窯元参加、JAゆんた市場では社協が中心、25回目35の窯元参加、ヤチムンの里陶器市は、北窯・読谷山焼の親方の皆さんが中心、37回目で18の窯元参加。

問 今の3カ所で継続の考えか

答 需要と供給のバランスも見ながら新たな開催ができた以後の動向は

きるのか踏まえて、陶芸家の皆さんとも意見交換をしたい。

問 行政との係わりは

答 県外でのプロモーション、イベント、ポスター、チラシ広告等一括交付金を活用して支援。

問 行政、観光協会もわり支援する組織体制が必要か検討す。

答 組織づくりができない



毎年大盛況の「やちむん市」

文化振興条例の制定について

答 沖縄県文化振興条例についてヒヤリング調査を行いその後課内で県の条例の制定経過や条例内容等の確認を行った。

問 つくる前提と解しているか

答 そこまでの判断には至ってない。

問 結論は

答 多くの課がこの条例について意見交換、まだまだ調査研究する余地がある。

問 議会の名において提起してあり2カ年経過している早いと思っているのか

答 全庁あげて調査研究していく段階。

問 文化村読谷が先んじてやって頂きたい、全国で制定数は

答 都道府県27、自治体で95。

問 高齢者居場所づくりに

答 関係者と協議も行ない考える。



しろま いさむ
城間 勇

流域関連公共下水道建設の早期実現に関して

問 伊良皆軍用地内の尚巴志3代の墓の前やサシジャ一ガの前の排水路に生活雑排水が流れている。浄化する対策が必要では

ナンスに莫大な費用を要している。横田地区下水道建設の早期実現に関する要望書が提出されておりますが

答 下水道整備の状況は、主に土地区画整理事業地区を中心に進めております。そのめどがついてから伊良皆以北の下水道整備を進めていきたい。横田地区の現状については、施設整備課としても把握している。要望書の15年以内の下水道整備の実現は、現時点で確約できる状況にはない。

問 横田自治会の汚水処理場の維持管理については、今後とも横田自治会と村当局は連携を密にして頑張っていたら

答 企画政策課において企業側と事前の調整を行っている段階。泊城公園、渡具知海岸、砂浜へ自由な出入りができるか。調整をしなから、又、村からの提案として健康づくり、ウォーキングコースとか、自由に砂浜をウォーキングできるような仕組みがつかれないか、あと総合的に景観についても企業側と意見交換、調整をしている。

問 古堅の縦4本の道路、村道認定に向け、古堅自治会より村道認定同意書を添付して要請してありますが

答 マックスバリュース読谷店の背後古堅704番地から738番地間道路、村道認定して、早期に整備すべき

問 関係地権者等の合意形成を地域の自治会長などが中心となり進めていた。た上で、村道認定の手続きを進めたい。



やましろ せいき
山城 正輝

座喜味城600年事業は、2019年に!

問 座喜味城築城600年の認識と関係者、地域の皆さんの努力をどう考えるか

保育園へのICT導入は検討!

問 ICTとは、どんなシステムで導入園はどこか

答 保育の記録・計画や保護者との連絡、登降園管理等で保育士の負担を軽減し、児童福祉向上を図る。14市町村の認可園で導入。町村の認可園で導入。村としても導入検討してはどうか

パチンコ店北生活道路は、早期整備へ!

問 渡慶次モータース・大永建設間の道路の現状をどう認識し、村民要請はどうなっているか

答 整備の必要性を認識。伊良皆自治会からの同意書を精査している。

問 早急に認定し、整備すべきではないか

答 防衛事業を予定し、早期整備に努めたい。

答 各家庭の浄化槽の適正な維持管理により、軽減が図られる。

問 国道58号線の緑地帯や喜名自治会の字有地に調整池か沈砂池等を作ったら

答 関係する自治体や関係部署と相談をして、できるかどうか検討していきたい。

問 横田地区ハイランド浄化槽は43年前に建設され老朽化が著しく、メンテナンス

問 渡具知海岸沿いの遊休地への温泉付リゾートホテルの実現に関する進捗状況

答 当該地域に下水道計画

古堅地域の道路整備

問 古堅の縦4本の道路、村道認定に向け、古堅自治会より村道認定同意書を添付して要請してありますが

答 古堅自治会とやりとりをしながら、村道認定に向けた作業を進めている。

問 古堅71番地から869番地間の生活道路の整備



43年前に建設され、老朽化した浄化槽



座喜味城600年事業として、この辺りに護佐丸像か何かの置物を!

県道16号線渋滞対策は、右折、左折常調整、比謝横断線平成33年度事業採択で!

問 国道58号線から古堅給油所、ファミマ、赤橋辺りの渋滞をどう認識し対策するか

答 朝夕の通勤通学時を中心に渋滞。ファミマ前信号要請中。旧新崎歯科前左折帯は、調整必要。西海岸道路整備も資する。

米軍ヘリ不時着は、はなはだ遺憾!

問 米軍からの事故報告はあったか。今後の対応は

答 防衛局より報告を受けている。これまで同様、抗議要請等で対応する。

鉄軌道と村交通システムは、バスかLRTか県へ!

問 県の推奨ルートから、読谷村と嘉手納町は、はず

れたがどう評価するか

答 事業効果など総合的に判断されたと理解。

問 今後の村総合交通システムをどう考えるか

答 ファイダー区(支線)、高速バス、LRT(路面電車)がよいのか今後、県に伝えていく、沖繩・読谷線も要請する。

里浜条例制定は、リゾート地もふまえて議論!

問 村海岸の現状をどう認識し、保全・活用・条例制定をどう考えているか

答 アダン群落等海岸植物が良好。崖地にオキナワマツバボタン等独特な植物が生えている。ポランテアによる清掃、学習の場として活用。リゾート地である事も踏まえて議論していきたい。



お徳雄 那覇市 雄那 与那

公的年金受給について

問 年金受給資格期間25年から10年短縮で受給資格がある対象者は

答 村内対象者は327人。

問 対象者の手続状況は

答 日本年金機構から年金請求書が順次発送され、本村は未請求者へ臨戸訪問を実施、訪問開始前15人から2月末時点259人が請求を終えた。

問 法改正で該当する方の年金額は幾らか

答 平成29年度65歳からの老齢年金額、10年間納付された方は、40年間の満額77万300円その41に当たる年額19万4825円になる。

問 訪問の状況と効果は

答 黄色い請求書が未開封

で置かれたり、内容が分からない方がいた。訪問を重ねる中で窓口や電話での問い合わせが増えた。

子ども食堂について

問 「子ども食堂」の開設は

答 子ども居場所支援事業で食事の提供を実施しているのので「子ども食堂」の開設は考えてない。

問 学校給食のみで一日の食事をしている生徒もいるか

答 児童生徒はいない。

問 子ども居場所支援事業はいつから開始されたか

答 平成28年7月実施。

問 どの子どもが対象か

答 基本的に生活習慣が余り確立されていない子どもを対象にしている。

問 村内2カ所の場所及び実施されている活動内容は

答 高志保と伊良皆で2事業所へ委託、個別支援計画で基本的な生活習慣を習得させ学習意欲の支援を実施。

問 子どもの貧困率や弱者の立場、福祉の面から「子ども食堂」の設置を検討する時期ではないか

答 必要な子どもに対し、個別支援・目標値を決め支援等を行った方がより効果的と考え「子ども食堂」の開設より事業継続をしていく。

交通安全について

問 読谷クリーニング店前三差路の時間差信号は歩行者に危険である安全対策は

答 6秒間の時間差がある。余裕を持って右折が出来るため、横断歩道は歩行者優先、安全対策として認識。

問 村内に時差式信号機は

答 時差式信号機は9カ所。

問 同時信号にすべきでは

答 6秒間の時間差は危険。調査し、嘉手納警察署と協議



注意! 6秒間の時間差信号機

公共施設等のトイレについて

問 チビチリガマ横の公衆トイレを和式から洋式に改修できないか

答 和式を洋式に改修する。

問 いつ頃、改修工事に入る予定か

答 財政と調整がつき次第改修していく。

問 村内公共施設のトイレに和式・洋式・用具入れの表示が必要だが

答 村民・観光客のニーズに合わせて検討する。



うえちりえ こと
上地利枝子

放課後健全育成事業の整備運営について

問 共働き家庭が多くなっている現状で、放課後の子ども達の居場所が社会的に課題となっている。本村の子ども達の現状と支援額

平成 27 年度調査

過し方	%	人数	予算額(30年)
学童に通う	12	348	717 万円
部活	31	892	0 円
塾・習い事	31	869	0 円
児童館	1	21	1,066 万円
公民館	4	103	339 万円
家で過す	31	901	0 円

問 家で過ごしている子ども達の状況

答 勉強や読書、テレビやビデオゲームをして過ごしている。家庭によって異なっている。

問 各字公民館を活用しての支援を拡充すべきだと思いますが、教育長どうですか。

答 子ども達の健全育成に資することは大変重要なことであります。公民館は公民館としてのいろいろな事情もございまして、いろいろな形で皆さんに御協力をお願いしながら、いろいろな方面でこういった結びつきを持ちながら、地域の子は地域で育てることが最良だと思つ。

非常通報装置の設置状況

整備と雨水排水処理について伺う

問 村内の保育所(国)幼稚園、小中学校での防犯対策として非常通報装置の設置についてどのように考えているか

答 平成13年6月に大阪教育大学付属池田小学校の事件後の施設については、防犯非常通報装置が設置されている。本村中学校2校はその対応を見習って設置されている。今後子ども達の安全・安心を確保する為、必要な設備であると考えます。

問 道路によっては側溝がなく集中豪雨のとき、民家の敷地まで雨水が入って危険であり早急の対策が必要と考えるが

答 特にかねひで前の部分においては側溝がなく、縦断勾配、道の勾配がきつという事で、結構流水の速い水が流れているところで側溝を設けるとなると当然下流側、県道側に流末処理対策も考慮しないといけない。道路整備については計画に沿って考えていきたい。

波平大当地域道路整備

問 村道中央残波線が29年度で全面開通した。中央残波線から県道6号線を結ぶ道路、縦ラインの今後の

整備と雨水排水処理について伺う



ちばな とくえい
知花 徳栄

海浜保全の環境問題について、村内の海浜には沈砂池のない排水路が10ヶ所以上ある。海浜保全の為に水質検査をすべきと考えるが、これまでに水質検査を実施したことがあるか

答 村営の残波ビーチ、二ライビーチは県が調査をし基準を満たしている。

問 10ヶ所以上の排水路流末(砂浜)に関しては調査をしたことがあるか

答 村独自の調査は確認してないが海浜の水質を今後検討していく。

問 人口も増加し生活雑排水等も多くなっていると考えられる今日、海浜汚染防止対策について関係課に問

答 下水道事業・汚水処理の整備や家庭の浄化槽の適切な維持管理、悪臭と赤土流出対策に取り組む。

旧読谷中学校跡地利用について

問 商業施設や医療施設の誘致を進めるといふことだが、予定されている企業の見通しはあるか

答 現段階、候補者と基本協定定結に向け協議中。

問 貸付をするということだが、売却処分の方策はないか

答 売却または賃貸を想定していたが、地域住民の要望に沿った土地利用が安定に行えるよう村が地権者となることにより、その用途についてある程度制限できるため、貸付による土地利用を予定している。

問 年間の賃貸料の予定額と賃貸契約年数の予定について

答 賃貸料は年間160万円程度、貸付期間は10年以上30年未満で協議を進めている。

問 跡地利用の雨水排水は既存の現場打ち側溝に行くと思うが、古くフタもない。

答 現場の状況は把握しているので、関係課と協議をしながら今よりもいい道路の改善ができればと考えている。

問 村営墓地団地の進捗状況についてはどのようなようになっているか

答 当初新火葬場に隣接する形での整備計画であったが、進入路等課題があり、現在課題解決に向けて課内で議論中である。

問 以前から住民の要望の多い公営墓地団地については、

近隣市町村では13年前にすでに公営墓地団地が整備されている。村は課内の議論だけではなく検討委員会を立ち上げて早期整備に向けてがんばって頂きたい。又、無許可等違反建築などもあり、規制のためにも条例制定ができる事を期待する。



開発予定の商業地域



市長 前田 良史

「ふるさと納税4千670万円」

問 平成28年6月からスタートした、ふるさと納税の2年目の今年度寄附件数および寄附額は

答 平成29年度2月末時点で寄附件数174件、寄附額460万円で、3月末までに460万円の見込み。

問 近隣市町村に比べ、寄附件数、寄附額ともに低いと感じるが、寄附額に対する返礼品率の現状は

答 寄附額の概ね3割（送料含む）を返礼品の額としている。

問 大方の市町村では、返礼品のみで3割を行っているのが現状であり、寄附者が1万円の寄附をした場合3千円の返礼品がもらえるという明瞭な形が良いのでは、

また寄附額の内訳が1万円から250万円まで33ランクにわけており、分かりづ

らい。おとなりの嘉手納町が1万円前後の寄附額をメインに7,800件8,500万円の寄附額となっている。

答 各市町村それぞれ特有の取り組みのなか本村では、やちむん400件（704万円）、マンゴー300件（710万円）、サンゴの放流（555万円）に

多くの寄附が集まっており、今後どのような形で寄附者にアピールできるか検証していく。

「18歳選挙権始まる」

問 平成28年7月より「18歳選挙権」が度移入される中若者の政治参加意識を育む、主権者教育をどう考えるか

答 新学習指導要綱の中で、その他の重要事項として主権者教育の充実が挙げられており、自分の住んでいる地域に関心を持ち積極的に関わる事は大切なことであり、学校と連携して進めていく必要がある。

問 教育の中でどのように主権者教育を取り入れていくのか

答 小学校・中学校社会科「公民」の指導内容や自動生徒会活動、体験活動の推進等、体系的に位置付けて推進していく

「増える不法投棄をどうするか」

問 昨年の沖縄市産廃業者許可取り消しにより村内でも不法投棄が増えていると

答 許可の取り消し処分前と後で調査をしておらず比較は出来ないが、村民及び産廃業者は廃棄物の適切な処理・処分の周知に努め、不法投棄された廃棄物の増減に注視していく。



定着しつつある『ふるさと納税』



あきひろ あきひこ
新 昭彦

警察署から示されておらず、現在どういう形で取り扱われているかわからない状況である。

問 行政から嘉手納警察署への申請書は一回の提出で済むか。それとも毎年申請書を出しているか

県道12号線波平東門入り口について

答 以前は一度申請書を提出すればそれがずっと残る形とあり、新規の場所について申請をしていた、ここ数年なかなか信号機が設置されていないこともあり、改めて毎年申請をするようにしている。

問 現在、信号機設置の進捗状況と行政の取り組みは、また現場の調査はされたか

答 3点について、当該箇所は県道12号線で下り坂になっており、スピードが出る場所である。さらに変則的な交差点にもなっており危険だと認識している。行政の取り組みとしては横断歩道の塗り直しや、スピードを減速するための看板設置、加えて嘉手納警察署へ信号機設置の要請を行っている。

問 総務課で設置した路肩の歩行者優先の赤いポストコーンの箇所や緑のカラー舗装の部分に歩行者用表示が出来ないか

答 路面標示に出来るかポストコーンに出来るか検討する。

問 信号機設置は読中周辺の信号機設置がなされればとあつたがその後の進捗状況は

答 現在、何か所か毎年申請をしていく中で、どれが優先順位が高いか嘉手納警察署に確認をしたところ、電気の標識が

問 以前、横断歩道上の電気の標識が撤去されているがなぜか

答 嘉手納警察署に確認をしたところ、電気の標識が撤去された理由は確認できないとのことでした。しかし、今年度において嘉手納警察署から沖繩警察本部交通規制課へ自光式横断歩道を取り付けるよう上申しているという回答があつた。

問 設置申請件数と設置箇所は

答 村内で3か所、長浜公民館のバス停前、波平東門、喜名小の入り口。

問 地域振興交付金は毎年減額か

答 26年度に開始した地域振興交付金の予算額は、1億1千6百万円と変更はない、人口、世帯数で各自治会への交付金の増減がある。

問 各自治会で行われているゆいまーる共生事業の自治会加入外のボランティアと利用者数は何名か

答 平成29年4月現在で、村全体でボランティアは6人、利用者は16人。

問 排水路の土砂の撤去作業は

答 排水路土砂の撤去は読谷村地域農地・水・環境保全管理組織の活動や村の予算の範囲で行う。



やまうち まさのり
山内 政徳

している。

問 読谷村の待機児童の状況は

答 詳細を調査して、検討したいと思っている。

問 読谷村のアルコール健康障害についてどうなっているか、また対策者は何人か。

答 県においてもアルコール健康障害対策基本法や対策基本方針等を作成し、努力義務ではあるが、市町村は国と県と協力をしながら連携を図り対策に努めるようにとあり、断酒会、医療機関に受診等を促しているところである。

問 恩納村にある認可外施設こどもの森保育園に読谷村民の子どもの在籍は何人が、読谷村内にある認可外の保育園児と同等の補助がされているか

答 読谷村民の園児は99人で、補助は読谷村内にある認可外保育施設に対して出

問 嘉手納高校までの運行

答 平成29年4月現在で、村全体でボランティアは6人、利用者は16人。

問 コミュニティバスについて



早急な信号機設置が望まれる東門入口

についての検討はどうなっているのか

答 嘉手納へ行く場合のルート上の道路がない状況で嘉手納町内を回ると課題がある。そこで一番近い、計画路線があり、そこが嘉手納高校に距離も近いので読谷村内にバス停を置いて、そこから歩くことも可能な距離である。

ふるさと納税について。現状と課題はどうなっているか

答 平成29年度2月末で174件460万6千円となっている。いかにして本村の魅力を全国発信できるかが課題と考えている。

無料塾の状況はどうなっているか

答 古堅校が小学生16名、中学生15名、波平校が小学生13名、中学生11名、合計55名である。



問 子どもたちに対する影響は

答 子ども達の声として「勉強する理由が分かった」「希望の高校へ進学できた」「将来の夢のため頑張る」「音楽活動も楽しかった」「みんなと一緒に練習してきずなが深まった」「ボランティアに参加して地域の役に立ててうれしかった」等の声があった。

弔辞

去る4月29日に本村議会議員であり広報委員でもあった新城昭彦氏が急逝されました。

村民の福祉向上に向けた活動の志半ばでさぞかし心残りであったものにご拝察いたします。

平成26年に初めて当選され1期4年間村議会議員として村政の発展に尽くしてこられました。

新城氏の本村に貢献されたご遺志を引き継ぎ、村の発展に及び村民の福祉向上のために尽くすことをお約束申し上げ村会議員一同つしんで哀悼の意を捧げます。

読谷村議会

各委員会報告

総務常任委員会…里道に関して村内の現地調査と先進自治体の調査研究中。

建設経済常任委員会…パークゴルフ場の供用開始に向けての調査。

文教厚生常任委員会…放課後の子どもたちの過ごし方の実態調査中。



読谷村選挙管理委員会

読谷村議会議員選挙

平成30年9月9日(日)

選挙運動のためのポスターやのぼり等を道路や電柱に貼り付けるのは**違法**です。

平成29年度政務活動費収支報告

前期（4月～7月） 90,000円 | 後期（10月～3月） 90,000円

平成29年4月～平成30年3月分（月額15,000円×12ヶ月）

* 交付総額から支出総額を引いて残余がある場合は返還になります。

【政務活動費とは】 地方自治法第100条第14項・第15項及び読谷村議会政務活動費の交付に関する条例に基づき、議員の村政に関する調査研究に資するため必要な経費の一部として交付されるものです。

調査研究費	研修費	会議費	資料作成費	資料購入費	広報費	事務費
議員が行う村の事務及び行財政に関する調査研究に要する経費（講師謝礼費、交通費、宿泊費等）	団体等が開催する研修会、講演会等への議員の参加に関する経費（会費、交通費、宿泊費等）	議員が行う各種会議に要する経費（会場費、機材借り上げ費、交通費、資料印刷費等）	議員が議会審議に必要な資料を作成するために要する経費（印刷製本費、原稿料等）	議員が行う調査研究のために必要な図書・資料等の購入に要する経費	議員が行う議会活動及び村政に関する政策等の広報活動に要する経費	議員が行う調査研究のための事務遂行に必要な経費（事務用品費、通信費等）

平成29年度政務活動費収支報告

氏名	使 途							合計	交付総額	残 額 (返還額)
	調査研究費	研修費	会議費	資料作成費	資料購入費	広報費	事務費			
與那覇 徳 雄	67,180	90,018			3,500			160,698	180,000	19,302
知 花 徳 栄	67,180							67,180	180,000	112,820
新 城 昭 彦	67,120	89,742			1,000			157,862	180,000	22,138
山 内 政 徳	248,800							248,800	180,000	
仲宗根 盛 良	6,906	140,132			11,932		32,982	191,952	180,000	
仲 眞 朝 雄								0	180,000	180,000
新 垣 修 幸	248,800							248,800	180,000	
當 間 良 史	248,400							248,400	180,000	
比 嘉 幸 雄	248,400							248,400	180,000	
津波古 菊 江	136,956				9,024		13,038	159,018	180,000	20,982
上 地 利 枝子	185,100				9,024			194,124	180,000	
上 地 栄	203,956							203,956	180,000	
伊 佐 眞 武	66,840							66,840	90,000	23,160
長 浜 宗 則	248,800							248,800	180,000	
神 谷 嘉 栄	67,180	90,018			3,916			161,114	180,000	18,886
城 間 勇	132,500							132,500	180,000	47,500
伊 波 篤		163,864			1,000			164,864	180,000	15,136
山城 正 輝	申 請 無 し									
國 吉 雅 和	申 請 無 し									
計	2,244,118	573,774	0	0	39,396	0	46,020	2,903,308	2,970,000	459,924

※交付総額より合計額が多い分は自己負担としています。

政務活動費による活動報告

(平成29年4月～平成30年3月)

平成29年度

	研修議員	研修先	研修目的
4月	伊波 篤	東京都(セミナー)	地域活性化セミナー
5月	仲宗根 盛良	那覇市(セミナー)	地方創生・成功の方程式
	上地 利枝子	東京都(セミナー)	地域共生社会の実現に向けて
7月	山内 政徳、新垣 修幸 當間 良史、比嘉 幸雄、 長濱 宗則	山口県周南市・岩国市	もやいネットセンター、 コンベンションシティ推進事業 基地政策の取り組み
8月	與那覇 徳雄 新城 昭彦 神谷 嘉栄	滋賀県大津市 (全国市町村研修所) 兵庫県神戸市	自治体予算の原則 他 防災・減災の実現のための必要な情報 大震災及び大規模災害に対する知識等
10月	與那覇 徳雄、知花 徳栄 新城 昭彦、當間 良史 比嘉 幸雄、上地 榮 伊佐 眞武、神谷 嘉栄 城間 勇、伊波 篤	沖縄県南・北大東村	農業振興と地場産業による活性化
	仲宗根 盛良	京都市(セミナー)	議会の政策立案機能・監視機能
11月	上地 利枝子、津波古 菊江 上地 榮	長野県松本市・御代田町 石川県金沢市	児童園の運営・活動内容、 介護予防の取り組み、医療との連携 誰もが支え合うまちづくり
1月	山内 政徳、新垣 修幸 當間 良史、比嘉 幸雄 長濱 宗則	愛知県松山市 香川県坂出市・高松市	選挙コンシェルジュ・選挙グル ーププロジェクト、 さかいでブランド認定制度、 高齢者居場所事業
3月	山内 政徳、新垣 修幸 長濱 宗則	沖縄県南・北大東村	農業・漁業の取り組み



介護予防に取り組む長野県御代田町の活動



大型コンバインを活用した
サトウキビ収穫の風景(南大東島)



地域ブランドに取り組む香川県坂出市



点滴式配水を行う北大東島のサトウキビ畑

読谷村交通安全母の会経緯

1980年(昭和55年)5月7日沖縄県婦人連合会を母体とした沖縄県交通安全母の会連絡協議会が結成され「交通道德の高揚と家庭を中心とする交通事故の防止に努め、交通事故のない明るい社会の実現に寄与する」との目的をもって活動を開始された。同年8月30日全国交通安全母の会連合会に加入。(県父母の現状資料から引用)

翌年1981年(昭和56年)に読谷村交通安全母の会(以下読交母)が結成され全国交通安全キャラバン隊受け入れ、春・夏・秋年末年始交通安全運動の期間中街頭指導を中心に活動された。役員は村婦人会長が兼任していたので活発な活動が難しく1989年(平成元年)8月22日に婦人会の役員とは他に読交母の役員を選出、会則と事業計画を立案して、母親の立場から悲惨な交通事故をなくすため独自の活動をスタートした。

「交通安全は家庭から」を合い言葉に嘉手納警察署・嘉手納地区交通安全協会・読谷村交通安全推進協議会・読谷村教育委員会のご指導を頂きながら常に連携を密にし、学校・家庭・地域と行政が一体となった交通安全教育の推進を図り事故のない住みよい地域をめざして活動を続けています。

1月19日、東京都で行われた第58回交通安全国民運動大会中央大会にて、本村出身の比嘉サエ子さんが交通栄養章「緑十字銀章」を受章されました。



飲酒運転撲滅をイベントや劇で訴える母の会

りっかりっか読谷村議会

3月定例会での傍聴者は、延べ80名でした。

平成30年6月定例議会は6月12日(火)から20日(水)まで開会予定。

◎議会の日程についてホームページでお知らせしております◎

読谷村公式ホームページアドレス
http://www.yomitan.jp

〈お問い合わせ〉
議会事務局 TEL 098-982-9225